

2020年6月30日

使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社

「株式会社アールプラスジャパン」設立

— 業界を超えた12社による共同出資会社。米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化技術の開発に挑戦。 —



大日本印刷(株)(本社:東京 代表取締役社長:北島義斉 資本金:1,144億円 以下:DNP)は、サントリーMONOZUKURI エキスパート(株)、東洋紡(株)、レンゴー(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、J&T 環境(株)、アサヒグループホールディングス(株)、岩谷産業(株)、凸版印刷(株)、(株)フジシール、北海製罐(株)、(株)吉野工業所のプラスチックのバリューチェーンを構成する12社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン(代表取締役社長:横井恒彦 所在地:東京都港区)を設立し、2020年6月から事業を開始しました。

今後も(株)アールプラスジャパンは広く出資を募る予定です。現在、住友化学(株)なども出資への検討を進めています。

DNPグループは、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動と地球環境との共生を絶えず考慮し、行動規範のひとつに「環境保全と持続可能な社会の実現」を掲げています。また、2020年3月に策定した長期目標「DNPグループ環境ビジョン2050」*1をもとに、社員一人ひとりが、あらゆる事業において環境との関わりをあらためて強く意識することで、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けた活動を加速させています。

その一環として、人々の暮らしに身近なパッケージ分野では、利便性追求と環境負荷低減の両立を目指し、環境配慮パッケージシリーズ「GREEN PACKAGING」を展開しています。植物由来の原料を一部に使用した「バイオマテック」シリーズや、リサイクルしやすい単一素材(モノマテリアル)のパッケージ等を開発、提供し、バリューチェーン全体でGHG排出量の削減や資源の循環を図っています。また、人々の意識や行動を変えるデザインや仕組みづくりも推進し、モノづくりとサービス開発を組み合わせることで新しい価値を提供することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

今回、米国のバイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の「使用済みプラスチックの再資源化技術」の開発に参画することで、使用済みプラスチックのリサイクル、再資源化に貢献できると考えています。

※1 「DNP グループ環境ビジョン 2050」 はこちら：

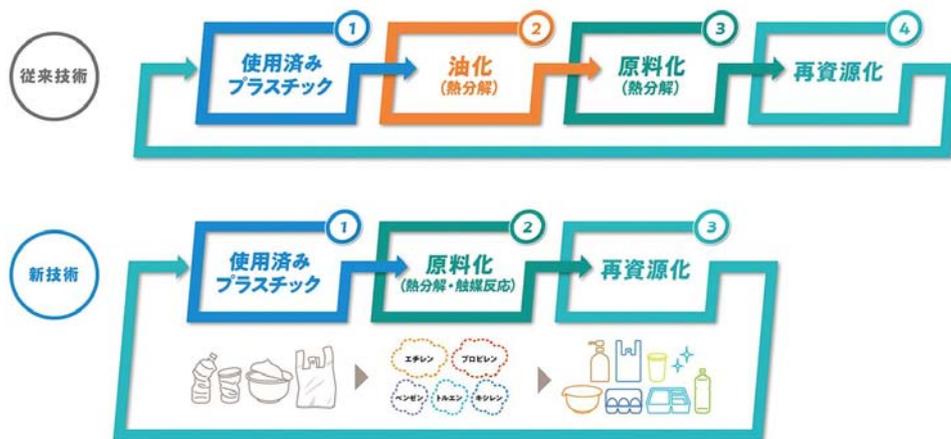
<https://www.dnp.co.jp/sustainability/management/environment/#anchor02>

【「使用済みプラスチックの再資源化技術」について】

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼^{※2}されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料（ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど）に戻すケミカルリサイクル^{※3}の技術です。従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO₂排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※2 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー（熱利用）を含む

※3 ケミカルリサイクル：使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする。



今回設立した(株)アールプラスジャパンは、アネロテック社とともに、この環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

【株式会社アールプラスジャパンについて】

○会社名：株式会社アールプラスジャパン

- 事業開始 : 2020年6月5日
- 本社所在地 : 東京都港区台場2-3-3
- 代表取締役社長 : 横井恒彦
- 事業内容 : 使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

●アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

※DNPの環境負荷低減活動について

<https://www.dnp.co.jp/sustainability/management/environment/>

※「DNP環境配慮パッケージシリーズ GREEN PACKAGING」について

https://www.dnp.co.jp/biz/solution/products/detail/1190186_1567.html

—以 上—

【報道関係者からのお問い合わせ先】

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 登坂 TEL: 050-3753-0025 E-Mail: Tosaka-K2@mail.dnp.co.jp